

はじめにお読みください

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の総則では、

「単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること」

と、「学習評価の充実」の必要性が明示されています。

知的障害教育の現場では…

育成を目指す資質・能力の三つの柱に基づいた目標設定、内容等を踏まえ、3観点に基づいて評価する指導と評価の一体化と言われるけど、どうしたら…。

児童生徒の生活や学習の様子等を記録しているけど、目標の達成状況等につながる記録としては十分ではないな。教員間で情報の共有もしたいけどな…。

評価や改善点と次への授業、学習評価等につながる記録を意識できるものが必要なのは分かるけど…。

若手の教員、経験の浅い教員が多くて…。

といった状況や課題がありました。

そこで、これらの課題を解決に導くツール

「**知的障害教育課程の授業改善アシスト**」

(以下、「**授業改善アシスト**」という。)

を作成しました。

1 「授業改善アシスト」とは

教育課程のカリキュラム・マネジメントを実施するための「枠組み」です。エクセルシートに組み込まれた「枠組み」に沿って目標設定から指導内容の設定、学習評価を行うことができ、授業改善につながられる、まさに **PDCA サイクル** **そのものを行うことができる** ツールです。

「**授業改善アシスト**」を使うと・・・

- **三つの柱** (①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力、人間性等) に基づいた目標設定、内容等を踏まえた「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に向かう力」の **3観点** による **指導と評価の一体化** を図ることができます。
- **学習評価** につながる記録や、**次の授業へのつながり** を意識でき、授業改善につなげることができます。
- 目標や支援方法、課題等を **共有する** ツールとして活用することができます。

2 「授業改善アシスト」の構成について

「**授業改善アシスト**」は、7種類のシートで構成されています。

①活用の手引及び表示設定のためのシート：人数等の基本的な設定をします。

②手順シート：どういった流れで目標の設定から評価、授業改善までを行うのかが一目で分かります。

③教科等実態把握シート：各教科の実態を、学習指導要領の段階と対応して把握できます。

④個別シート：単元の目標や評価規準、判断のための基準、評価等を3観点に基づいて入力できます。



個別シートと集団シートを行き来しながら目標の設定から学習評価まで行います

⑤集団シート：集団としての目標、評価規準、判断のための基準、評価を3観点に基づいて入力できたり、授業者の振り返りが入力できたりします。

⑥個別比較シート：個別シートの内容が転記され、一人一人の目標等を比較できます。

⑦まとめシート：集団の実態や目標、評価規準、学習状況の評価等が転記され、次の単元計画に生かすことができます。

3 「授業改善アシスト」のダウンロード

- ・千葉県総合教育センターWeb サイトから「**授業改善アシスト**」をダウンロードしてください。
- ・表計算ソフト「Excel」を用いていますので、パソコンですぐに使えます。
- ・必ずマクロを有効にしてから進めてください。次のような警告が出た場合、「プロパティ」から、「セキュリティの許可」をしてください。



(詳細は、「セキュリティリスク」によるマクロのブロックへの対応方法を参照してください)

- ・ダウンロード後は、校内のサーバーなどに保存し、先生方がすぐに取り出せるようにし、管理することをお勧めします。
- ・学習の状況など、個人情報を含むものになります。電子データ等の資料の管理については十分にご注意ください。

「**授業改善アシスト**」の入力の方法については、「**手引**」と「**記載例**」を参考にしてください。

「手引」と「記載例」も、千葉県総合教育センターWeb サイトからダウンロードできます。

「手引」

- ・学習評価について
- ・Q & A
- ・活用の流れ

「記載例」

- ・知的障害特別支援学級(各教科等を合わせた指導)
- ・小学校(教科[算数])
- ・中学校(各教科等を合わせた指導)

【お問い合わせ】

千葉県総合教育センター 特別支援教育部
〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台5-10-2
TEL 043-207-6023 FAX 043-254-5111
E-MAIL sositokusi@chiba-c.ed.jp